

1. 令和2年度にぎわい交流館運営状況について

(1) 会議室等利用状況について (4~12月)

	R2年度	R1年度
会議室利用人数	5,034人	19,614人
利用件数	771件	1,534件
利用率 (1件以上の利用があった割合)	午前 39.4%	午前 91.9%
	午後 40.3%	午後 96.3%
	夜間 26.9%	夜間 80.7%
会議室利用団体数	103団体	149団体
1件あたりの利用人数	6.5人	12.8人
印刷機の利用件数	117件	424件

本年度は4・5月を休館、6月～12月まで会議室利用人数を制限した感染症対策ルールの下で運営しました。定員が約1/3になり、前年度比で利用人数が1/4となりました。利用件数は半減、利用率も前年度比約35%と大幅に減少しました。原因として、不要不急の外出自粛要請や、D室や和室の定員が少なかったことが考えられます。緊急事態宣言等コロナ禍で、利用団体が活動を控える動きが目立ちました。

		会議室 ABC	会議室 D	和室	合計
利用人数	R2年度	4,087人	769人	178人	5,034人
	R1年度	11,127人	4,988人	3,499人	19,614人
	前年比	36.7%	15.4%	5.1%	25.7%
利用件数	R2年度	478件	228件	65件	771件
	R1年度	603件	552件	379件	1,534件
	前年比	79.3%	41.3%	17.2%	50.3%

	会議室 ABC			会議室 D			和室		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
R2年度	48.1%	42.5%	22.2%	20.0%	27.1%	6.4%	6.1%	4.7%	4.5%
R1年度	75.2%	88.9%	61.5%	73.7%	88.1%	53.0%	64.8%	76.7%	38.5%

※6月1日より2020年感染症対策ルール。午前①9:00～10:30 ②11:00～12:30、午後③13:30～15:00

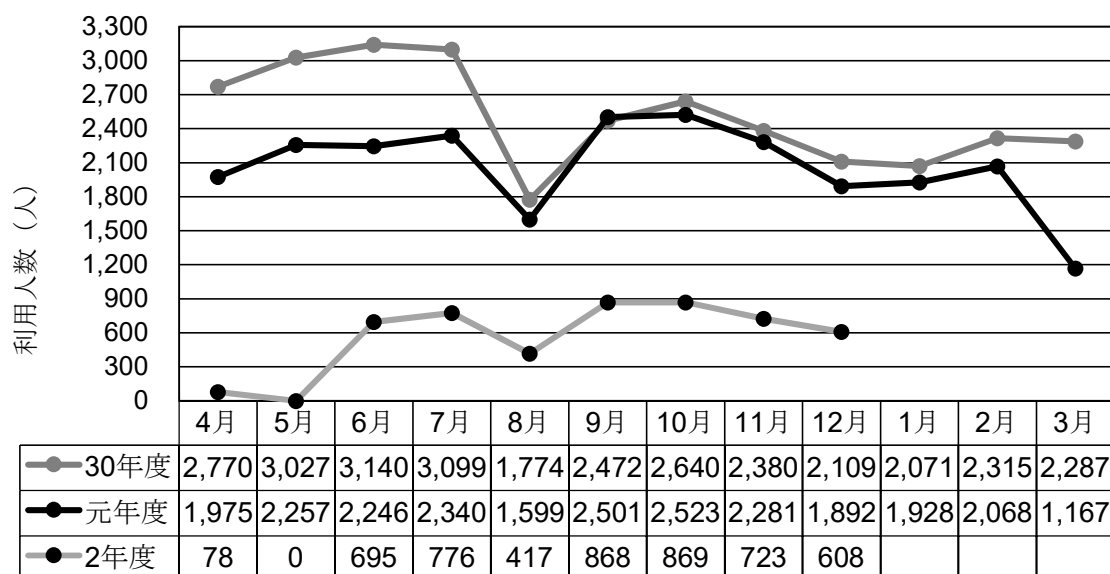
④15:30～17:00、夜間⑤18:30～20:00 ⑥20:30～22:00において1件以上の利用があった場合に計上。

2021年1月5日からの会議室利用区分けは、以下の通りに変更。午前①8:30～10:00 ②10:00～11:30

③11:30～13:00、午後④13:00～14:30 ⑤14:30～16:00 ⑥16:00～17:30、夜間⑦17:30～19:00

⑧19:00～20:30 ⑨20:30～22:00

会議室利用人数の推移



(2) 市民サロン運営状況について (4~12月)

感染症対策により今年度の**ワンデイシェフ**によるランチ提供は中止となりました。前年度から4月に1団体が減り、8団体が継続を表明しました。その後3団体が減ることになりました。8月予定の「木祖村ランチフェア」、11月予定の「あったかだんらん鍋フェア」も中止しました。

マーケットは前年度から引き続き8団体からの申し込みがありました。しかし、4・5月の休館と6月以降の感染症対策ルールでの密にならない館内利用の推奨のため、来館者の見込みが少ないことから、正式な申請は2団体、定期利用は月に1回1団体のみの利用となっています。

ランチコンサートの開催は、前年度までに申し込みのあった4~7月分の13件が中止となりました。感染症対策の為に今年度は受付を中止しています。

ギャラリーの開催回数は10回で、前年度に比べて55.5%に減少しました。4~5月の休館をはじめ、出展者が新型コロナウイルス感染症拡大による来館者の減少を見越して申込みを見合わせたこと、利用の公平性などを保つため同じ人の展示は四季に1回までにしたり多くの来館者に見てもらうため展示期間を長くしたりといった利用ルールの変更があったことなどが減少の理由と考えます。開催回数は少なくなりましたが、新しい利用方法は定着しました。

	ワンデイシェフ				ランチコンサート		ギャラリー	
	食数 (食)		1日平均食数 (食)		開催回数 (回)		展示回数 (回)	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
4月		1,187		45.7		10	0	2
5月		961		41.8		10	0	0
6月		1,098		42.2		10	1	3
7月		1,157		46.3		9	2	3
8月		969		46.1		6	1	3
9月		1,060		46.1		9	1	1
10月		1,122		46.8		10	2	1
11月		1,142		45.7		10	1	3
12月		811		47.7		7	2	2
合計		9,507		45.3		81	10	18

(3) 登録団体数について（4～12月）

日進市市民活動団体登録の数は令和2年12月末時点で326団体であり、前年度末に比べて4件増加しました。

新規登録団体の主たる活動分野は、芸術・環境・社会復帰支援・福祉増進とわかれしました。

	新規登録	登録取消	差引増減	年度末団体数
平成28年度				301
平成29年度	35	65	-30	271
平成30年度	39	11	28	299
令和元年度	25	2	23	322
令和2年度 (4～12月)	4	0	4	326

(単位：件)

(4) 相談対応について（4～12月）

期間中に対応した相談件数は195件でした。件数が減少していた前年同期（115件）と比べて約70%増加し、対応することができました（前々年222件、前々々年301件）。緊急事態宣言に伴う休館や、感染症対策ルールにおける施設利用、寄附についての問い合わせが多くありました。

相談者の内訳は、「登録団体」が40.5%で最多でした。前年の最多であった「市民」の割合も34.9%と今年度さらに上昇しています。

相談内容の内訳は「館の運営・事業について」が最多。次いで「施設利用・団体登録したい」となりました。前年はあった「活動目的・事業内容について」「ボランティアしたい」はいずれも1件ずつと激減しました。コロナ禍で館の運営の変更があったこと、団体の活動が停滞していたことが主な要因と考えています。

相談者			相談内容		
登録団体	79人	40.5%	館の運営・事業について	59人	30.3%
市民	68人	34.9%	施設利用・団体登録したい	30人	15.4%
行政・学校等	32人	16.4%	講座や団体を探している	23人	11.8%
未登録の団体	10人	5.1%	団体について知りたい	21人	10.8%
企業	5人	2.6%	市の施策について	10人	5.1%
社協	1人	0.5%	その他	52人	26.6%

(5) 主な事業の実施報告・実施予定

【委託事業】

	事業名	日程	参加者数等
1	にしんわいわいフェスティバル啓発周知業務	令和2年8月～令和3年1月	掲載団体 61団体 B2ポスター 200枚 クリアファイル 200枚
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった、2020 わいフェスの啓発及びその周知の為の啓発資材の作成を行った。令和元年に出展もしくは令和2年に出席希望で、2021 わいフェス出席希望団体を紹介するカレンダー付のポスター及びクリアファイルの作成及び配布を行った。		

【受託事業】

	事業名	日程	参加者数等
2	・にしんわいわいフェスティバル実行委員会事務局 ・にしんわいフェスカレンダー2021（全戸配布）	会議等は通年 【中止】令和2年7月4日（土）	実行委員 12人 A2ポスター掲載団体 61団体 発行部数 40,500部
	市民活動団体等が主体的に関わるイベント開催のため、実行委員会（全体会・部会）の運営、出展団体の取りまとめ、経費精算をはじめとする諸業務を行った。9月以降は、令和3年度の開催に向けた実行委員会を運営している（現在11人）。4月の段階で2020年度のわいフェス中止が決定したことで、代替事業としてカレンダーの全戸配布を行った。		
3	にぎわいNEWS 発行 (Vol. 20・21)	令和2年 6月 10月	発行部数 各 3,500部 掲載団体 2団体
	Vol. 18…日進市地域女性団体連絡協議会 佐藤里美さん、愛知池友の会 Vol. 19…にぎわい交流館 15周年 市民活動に関心を持ってもらうため、市民向けの情報紙を発行した。Vol.18は特集としてインタビュー記事を中心に構成。Vol.19はにぎわい交流館 15周年の節目に合わせ、当館を改めて知ってもらえる記事とした。当初計画通り2号発行した。		
4	広報にしん記事制作	令和2年 8月号 令和3年 3月号（予定）	掲載団体 3団体
	市民活動・SDGsに関心を持ってもらうため、市民向けの啓発記事を制作した。 8月号…にしんわいわいフェスティバル実行委員会 社会福祉法人あじさいの会ゆったり工房を特集予定だったが、感染症対策の為取材が中止。2020年7月に中止となったにしんわいわいフェスティバルの取り組みを取り上げた。わいフェス実行委員会のメンバーによる市民活動のはじめの一步を紹介した。 (予定) 令和3年3月号 当初予定のゆったり工房とスペシャルニーズの子ども達と共に		

	事業名	日程	参加者数等
	育む会スマイルの2団体を掲載。		
5	はじめての Zoom 講座	令和2年10月9日(金)	参加者 10人
	三密を避けた活動が社会的に求められていることを踏まえ、団体の活動を継続・再開できるよう、オンライン上でミーティングやイベントを行う方法を参加形式で実践した。		
6	専門家コーディネート事業(定期相談:はじめてのNPO会計講座)	令和2年11月18日(水)	参加団体 5団体
	会計報告の方法がわからない・はじめて会計報告を作るという団体向けに、専門家による講演とあわせた相談会を設定し、初心者向けの学びの場を提供した。		
7	にぎわいメルカリ講座 【中止】にしん市民まつり(にぎわい交流館ブース)	令和3年1月29日(金)(予定) 【当初予定】令和2年11月15日(日)	参加者 5人
	にしん市民まつりにおいて、団体が活動紹介したり資金調達したりする機会として、にぎわい交流館ブースを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。団体の活動資金を得るための代替手段として、家庭の不用品等をメルカリで販売する方法をお伝えした。		
8	【中止】木祖村フェア	【当初予定】令和2年8月	
	ワンデイシェフの利用促進、友好自治体 木祖村との交流のため、木祖村の夏野菜を使ったメニューを提供する取り組み。木祖村観光協会による産直フェア、加工食品の受託販売、ギャラリーでのポスター等展示を予定していた。新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止のため中止。		
9	【中止】志摩市フェア	【当初予定】令和3年2月	
	志摩市商工会による物産販売、ギャラリーを使った友好自治体のPRなどを行う予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
10	オンライン場づくり一年生	令和3年2月21日(日) 予定	参加予定 16人 (2/9時点)
	家庭や社会の課題を解決するための対等で建設的な対話の技術を学ぶ、オンラインの場づくり講座。Zoomの当日講座と、アーカイブ配信を20名ずつ予定。		

【自主事業】

	事業名	日程	参加者数等
11	にぎわい夢まつり【中止】	【中止】令和2年9月20日(日)	
	「にっしん夢まつり」に合わせて開催し、団体が活動紹介したり、資金調達したりする機会として開催を予定していた。新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止のため中止。		
12	事業報告・説明会	令和2年10月29日(木) 11月10日～(動画配信)	直接参加0名 リアルタイム配信3名 資料配布5部 動画視聴90回(12月末)
	登録団体に対して、にぎわい交流館の前年度の事業成果について報告するとともに、本年度の事業計画について説明し、情報共有・意見交換を行うとともに、団体同士の交流を図った。当初計画(7月)より時期を変更、事業変更が出そろった10月に開催した。		

その他特記事項

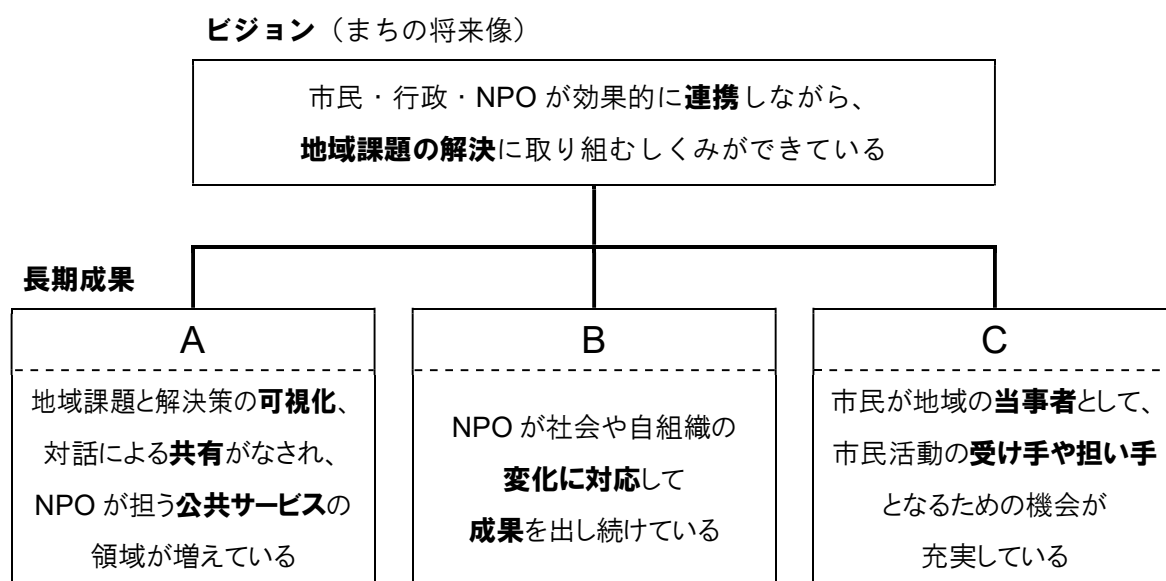
- とよしん財団表彰の推薦(4団体)
- 第11回にっしん緑のカーテンコンテスト公共部門優秀賞受賞
- 各区へのにぎわい交流館(令和2年5月11日(月)～6月25日(木))

市内全19区へにぎわい交流館をPRするため、市民協働課自治振興係の地域支援員と共に、市内の全区長を訪問した。各地域コミュニティの要として重要な機能を果たしている区を知り、話を聞くことで、「新旧住民の交流」など、現状の地域の課題の掘り起こしの一助となる事を心がけたい。

2. 令和3年度にぎわい交流館運営計画について

(1) ビジョンと長期成果

運営の指針として、平成29年度から掲げてきたビジョンと、その達成のためのロジックモデルを引き続き使用します（2021年度見直しを行う予定だったが、コロナウイルス感染症等会議室の利用方法等変更を重ねている状況。改めて2022年度に見直しを行う予定）。



	長期成果の数値目標 (R3年度)	直近の実績	所感
A	行政とNPOの協働事業件数※1 90件	89件 (H29) 87件 (H30) 103件 (R01)	新たな協働を創出する環境づくりに努めたい。実態に近い件数が把握されるようになった。感染症対策の為団体が活動を控える傾向にある。
B	にぎわい交流館登録団体数 270団体※2	326団体 (R2年12月)	市内の市民活動団体が堅調に増えつつある。コロナ禍で活動できない団体が増加。
C	ボランティア・NPO活動への参加経験のある市民の割合※3 20%	13.9% (H26) 14.4% (H28) 14.7% (H30)	市民が参加しやすくなる情報発信や機会づくりを重ねたい。

※1 第5次日進市総合計画、第6次日進市総合計画（案）基本計画より。

※2 団体登録更新時（3年ごと）の減少などを見込んだ目標値。

※3 第5次日進市総合計画より。実績は2年ごとの市民意識調査の結果。

(2) 受託事業および自主事業

分類	事業名		受託／自主
施設管理・ 利用許可等		会議室、印刷機、団体専用事務室等の利用許可、団体登録 調理室・ワンデイシェフ、マーケット ギャラリー、ランチコンサート 施設管理（清掃、警備など） 人権・男女共同参画情報スペースの管理	受託事業
		休日の喫茶提供 にぎわいドリンク マスク販売	自主事業
相談窓口	(1)	相談対応 専門家への相談コーディネート	受託事業
		事務支援事業（消耗品販売、データ印刷等）	自主事業
情報収集 および発信	(2)	市民活動、大学・学生団体に関するチラシ等の受付、配架 団体書庫、図書等収集・配架	受託事業
	(3)	にぎわい NEWS（2回） にぎわい団体帖（1回） ウェブサイト、メールマガジン	
	(4)	イベントカレンダー（月1回） チラシ配送（市民自治活動奨励事業認定制度） キャラクター「わいわい」を利用した PR	
		SNS 運用（Facebook ページ、Twitter）	自主事業
講座・ イベント等	(5)	わいわいフェスティバル実行委員会事務局	受託事業
	(6)	Zoom 講座（団体向け講座）	
	(7)	ファシリテーション講座（市民向け講座） 友好自治体フェア（ランチフェア・産直フェア等）	
	(8)	にっしん市民まつり（にぎわい交流館ブース）	
	(9)	にぎわい夢まつり 事業説明会	自主事業
会議等への参 加、関係機関 との連携		にっしん観光まちづくり協会理事会 日進市ボランティアセンター運営委員会（社会福祉協議会） 子どもの支援を考える会（社会福祉協議会） 日進市ボランティアセンター（社会福祉協議会）、日進市社会 福祉協議会 CSW、市民協働課自治振興係、大学のボランティ アセンター等との定期または不定期の情報交換	受託事業

※番号のある事業は、次項に説明があります。

	事業名	実施回数等	受託／自主	対応する長期成果
(1)	専門家への相談コーディネート	通年	受託事業	B
	団体経営や会計・労務・ファンドレイジングなどの専門的な相談について、専門家へ相談しやすい環境を整える。オンデマンド相談（申込に応じて手配）。見直し。			
(2)	にぎわい NEWS	年 2 回	受託事業	C
	市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、市民向けの情報紙や記事を制作する。子育て世代や定年退職世代を主なターゲットとした記事を制作する。継続。			
(3)	にぎわい団体帖	冊子・Web 掲載 1 回	受託事業	C
	市民活動・ボランティアの団体を知ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、団体の情報を掲載した冊子を制作する。広報にしんからの見直し。			
(4)	イベントカレンダー	月 1 回	受託事業	C
	市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、にぎわいに集まるイベントの情報をカレンダー形式で制作する。ホームページに掲載することでいつでも情報へアクセスできる環境を整える。見直し			
(5)	わいわいフェスティバル 実行委員会事務局	通年（7月3日開催）	受託事業	C
	市民主体のイベント運営のための事務を行う。会議の補助、出展団体募集の受付、パンフレット作成、市との連絡調整など。市民活動団体同士や、大学生や地縁型の団体との連携を図る。また、市民への SDGs や市民活動の啓発を行う。令和 3 年度は Web&紙面での開催を予定。継続。			
(6)	Zoom 講座（団体向け講座）	1 回程度	受託事業	B
	オンライン上でミーティングやイベントを行う方法を学ぶ講座。R1 年度に団体からのニーズを受け、事業変更したものを継続。			
(7)	ファシリテーション講座 （市民向け講座）	1 回程度	受託事業	C
	家庭や社会の課題を解決するための対等で建設的な対話の技術を学ぶ講座。継続。			
(8)	にしん市民まつり（にぎわい交流館ブース）	1 回程度	受託事業	B
	にしん市民まつりにおいて、団体が活動紹介したり資金調達したりする機会を設ける。感染症対策等で中止の場合は、団体の活動資金を得るための代替手段として、メルカリなどオンライン販売の方法伝える。継続。			
(9)	事業説明会	1 回（上期）	自主事業	なし

	にぎわい交流館の運営方針や事業計画について説明し、参加者の意見を聞く機会を設ける。 。継続。
--	---